

第百六拾四號

今般露西亞國ト千島樺太兩島交換條約別紙ノ通取結相成候條此旨  
布告候事

明治八年十一月十日

太政大臣三條實美

天佑ヲ保有シ萬世一系ノ帝祚ヲ踐ミタル日本皇帝此書ヲ以テ宣示ス  
 朕全露西亞皇帝陛下ト望ヲ同シ朕ハ樺太島薩哈連島ノ内朕カ所領タル部  
 分ヲ全露西亞皇帝陛下ヘ讓與シ全露西亞皇帝陛下ハ其所領タル千島  
 群島アイリールアイラソズノ全部ヲ朕ニ讓與スルコトヲ互ニ決シタルヲ以テ雙方  
 ノ全權重臣明治八年五月七日彼得堡ニ會シ其條約ヲ締盟調印セリ即  
 其條款左ノ如シ

4850

千樺  
島太  
交換  
條約

## 條約

大日本國皇帝陛下ト

全魯西亞國皇帝陛下ハ今般樺太島即薩哈是迄兩國雜領ノ地タルニ由  
 リテ屢次其間ニ起レル紛議ノ根ヲ斷チ現下兩國間ニ存スル交誼ヲ堅  
 牢ナラシメンカ爲メ

大日本國皇帝陛下ハ樺太島即薩哈上ニ存スル領地ノ權理

全魯西亞國皇帝陛下ハ「クリル」羣島上ニ存スル領地ノ權理ヲ互ニ相  
 交換スルノ約ヲ結ント欲シ

大日本國皇帝陛下ハ海軍中將兼在魯京特命全權公使從四位權本武揚  
 ニ其全權ヲ任シ

全魯西亞國皇帝陛下ハ太政大臣金剛石裝飾魯帝照像金剛石裝飾魯國

シント、アンドレアス褒牌シント、ウラジミール一等褒牌アレキサンドル、  
 子フスキー褒牌白鷺褒牌シントアンナ一等褒牌及シントスタニスラ  
 ス一等褒牌佛蘭西國レジウシ、ド、オノール大十字褒牌西班牙國金膜大  
 十字褒牌澳太利國シント、エナーチ大十字褒牌金剛石裝飾字露生國黑  
 鷺褒牌及其他諸國ノ諸褒牌ヲ帶ル公爵「アレキサンドル、ゴルチャコ  
 フ」ニ其全權ヲ任ゼリ

右各全權ノ者左ノ條款ヲ協議シテ相決定ス

第一款 大日本國皇帝陛下ハ其後胤ニ至ル迄現今樺太島即薩哈  
噠島ノ一

部ヲ所領スルノ權理及君主ニ屬スル一切ノ權理ヲ全魯西亞國皇帝

陛下ニ讓リ而今而後樺太全島ハ悉ク魯西亞帝國ニ屬シ「ラペル

ズ」海峽ヲ以テ兩國ノ境界トス

第二款 全魯西亞國皇帝陛下ハ第一款ニ記セル樺太島即薩哈權理  
離島ヲ受シ代トシテ其後胤ニ至ル迄現今所領「クリル」羣島即チ第一  
 「シユムシユ」島第二「アライド」島第三「バラムシル」島第四「マカ  
 ンルシ」島第五「ヲチコタン」島第六「ハリムコタン」島第七「エカル  
 マ」島第八「シヤスコタン」島第九「ムシル」島第十「ライコケ」島第十  
 一「マツア」島第十二「ラスツア」島第十三「スレド子ワ」及「ウシ、  
 ル」島第十四「ケトイ」島第十五「シムシル」島第十六「プロトン」島  
 第十七「チエルポイ」並ニ「アラット、チエルポエフ」島第十八「ウルッ  
 プ」島共計十八島ノ權理及ビ君主ニ屬スル一切ノ權理ヲ大日本國皇  
 帝陛下ニ譲リ而今而後「クリル」全島ハ日本帝國ニ屬シ東察加地方  
 「ラバツカ」岬ト「シユムシユ」島ノ間ナル海峽ヲ以テ兩國ノ境界トス

第三款 前條所載各地並ニ其地産ハ此條約批准爲取換ノ日ヨリシテ

直ニ全ク新領主ニ屬スル者トス但其各地受取渡ノ式ハ批准後雙方

ヨリ官員一名又ハ數名ヲ撰テ受取掛トシ實地立會ノ上執行フベシ

第四款 前條所記交換ノ地ニハ其地ニアル公同ノ土地、人ノ下手セザ

ル地所、一切公共ノ造築、壘壁、屯所、及ビ人民ノ私有ニ屬セザル此種

ノ建物等ヲ所領スルノ權理モ兼存ス

現下各政府ニ屬スル一切ノ建物及動産ハ第三款ニ載スル雙方ノ受

取掛役取調ノ上其代價ヲ按查シ其金額ハ其地ヲ新ニ領スル政府ヨ

リ出ス者ナリ

第五款 交換セシ各地ニ住ム各民(日本人及魯人)ハ各政府ニ於テ左

ノ條件ヲ保證ス、各民並共ニ其本國籍ヲ保存スルヲ得ルコト、其本

國ニ歸ラント欲スル者ハ常ニ其意ニ放セテ歸ルヲ得ルコト、或ハ其  
 交換ノ地ニ留ルヲ願フ者ハ其生計ヲ充分ニ營ムヲ得ルノ權理及其  
 所有物ノ權理及隨意信教ノ權理ヲ悉ク保全スルヲ得ル全ク其新領  
 主ノ屬民(日本人及魯人)ト差異ナキ保護ヲ受ル事雖然其各民ハ並  
 共ニ其保護ヲ受ル政府ノ支配<sup>ガユリスチン</sup>下ニ屬スル事

第六款 樺太島<sup>即薩哈</sup> 離島<sup>離島</sup>ヲ讓ラレシ利益ニ酬ユル爲メ全魯西亞國皇帝  
 陛下ハ次ノ條件ヲ准許ス

第一條 日本船ノ「コルサコフ」<sup>即「クシユ」</sup>「港<sup>コタ</sup>」ニ來ル者ノ爲メニ此條  
 約批准爲交換ノ日ヨリ十ヶ年間港稅モ海關稅モ免スル、此年限滿  
 期ノ後ハ猶之ヲ延スモ又ハ稅ヲ收メシムルモ全魯西亞國皇帝陛下ノ  
 意ニ任ス全魯西亞國皇帝陛下ハ日本政府ヨリ「コルサコフ」港ヘ其



領事官又ハ領事兼任ノ吏員ヲ置クノ權理ヲ認可ス

第二條 日本船及商人通商航海ノ爲メ「ヲホツク」海諸港及東察加  
ノ海港ニ來リ又ハ其海及海岸ニ沿テ漁業ヲ營ム等渾テ魯西亞最懇  
親ノ國民同様ナル權理及特典ヲ得ル事

第七款 海軍中將榎本武揚全權委任狀ハ未タ到來セズト雖モ電信ヲ  
以テ其送致スル旨ヲ確定セラル、ニ由リ其到ルヲ待タズシテ此條  
約面ニ記名シ其到ルヲ待テ各全權委任狀ヲ相示スノ式ヲ行ヒ別ニ  
其事ヲ記シテ以テ左券トスヘシ

第八款 此條約ハ大日本國皇帝陛下並ニ全魯西亞國皇帝陛下互ニ相  
許可シ而シテ批准スヘシ但各皇帝陛下ノ批准爲取換ハ各全權記名  
ノ日ヨリ六ヶ月間ニ東京ニ於テ行フヘシ

此條約ニ權カヲ附スル爲メ各全權各其姓名ヲ記シ並ニ其印ヲ鈐ス  
ル者ナリ

明治八年五月七日即一千八百七十五年四月二十五日比特堡府ニ  
於テ

榎本武揚(印)

ゴルチャコフ(印)

朕親シク右條約ヲ通覽シ其旨ヲ至當トス故ニ今此書ヲ以テ之ヲ全ク  
證認批准シ天地ト悠久ヲ期シ總テ條約中所載ノ條款ハ正ニ之ヲ遵行  
セン事ヲ約ス右定證トシテ爰ニ朕カ名ヲ親記シ國璽ヲ鈐セシム

神武天皇即位紀元二千五百三十五年明治八年八月廿二日

御名 國璽

奉勅

外務卿寺島宗則

外務卿印